

(別添2)

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者共同生活援助

事業所名（施設名） グループホームおむすび

### 第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。</li> <li>■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。</li> <li>■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。</li> <li>■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。</li> <li>■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をうじて具体化されている。</li> <li>■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。</li> </ul>	・グループホームおむすびの理念では「ごはんは一粒、一粒どれも味や形がちがうのに、おむすびはまとまって調和がとれたおいしい味になっています。一人ひとりの特徴やニーズ、地域での生活を大切にしながら、おむすびのようにまとまって調和がとれる暮らしをつくる」とし、様々な年代、性別、生活歴、職歴、想い等の違う人たちが自分の望む作業所や生活の場で自分の思う生き方が実現できるようにし、外出補助や買い物代行等利用者様の希望や要望に合わせ支援している。ホームでは日常生活の中で「本人がどうしたいのか」を確認し、その思いを可能な限り尊重して。何か要望や相談があればその時に話し合いを行っている。また、共同生活の場であるため人間関係が上手くいかないときはその時に話し合い、合理的配慮により自己決定ができるようしている。利用者の権利についての検討は利用者から出た意見などを共有ノートへ記載し、職員同士で共有し対応するようにしている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2) 権利擁護	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	c	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。</li> <li><input type="checkbox"/> 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</li> </ul>	・グループホームで行う権利擁護に関する研修を設けたり、外部研修を代表の職員が受講したりし、職員会議やミーティング等で共有している。管理者は利用者の権利擁護の取り組みについて、家族に伝えている。虐待防止に関する研修も実施しており、現在、権利侵害の該当者はいないが対象者がいた場合はマニュアルを基準にして対応することとしている。今後、ミーティングや会議など全職員がそろって話し合う機会を設け、事例集などを参考に定期的に検討するような機会を設けられることを期待したい。また、所管行政への虐待の届出・報告についての手続きや実施方法などを理解するための学習の機会を作られることも期待したい。
2 生活支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。		a	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 17 生活の自己管理ができるように支援している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</li> </ul>	・利用者一人ひとりの心身の状況や生活習慣、能力や特適性等をアセスメントして、その人らしく生き生きと生活できるように個別支援計画を策定し具体的に支援している。住まいと日中活動先の分離を行い障害特性や個別のニーズに対応する環境を整えている。生活の自己管理では、利用者の状況に応じたサービス（フォーマル・インフォーマル）を活用して生活の自己管理ができるように支援している。

○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	2	(1)	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</li> <li>■ 20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</li> <li>■ 21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</li> <li>■ 22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</li> <li>■ 23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</li> </ul>	<p>・利用者の生活を支援するうえで意思疎通を図るコミュニケーションは重要であるとし、言語、ジェスチャー、筆談、表情等、様々な手段を使い一人ひとりの心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。対話で話すことが苦手な利用者には、メモや文書でコミュニケーションをとるようにしている。また、話すスピードや声の大きさなど、利用者が話しやすく、聞き取りやすいように配慮している。日頃から、職員からの声掛けを小まめに行い、かかわる時間を可能な限り持つことでサインを見逃さず必要な支援を行っている。</p>
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</li> <li>■ 25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</li> <li>■ 26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</li> <li>■ 27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</li> </ul>	<p>・利用者の意思を尊重する支援として日頃から声を掛けコミュニケーションを図り信頼関係を深めている。利用者が個別の相談があるときにはゆっくりとその時間を設けて傾聴するようにし、そこから支援方法や対応方法を考え問題解決に向けた説明を利用者に伝え支援している。利用者インタビューでも「あなたは不満や要望をきちんと話すことができますか」「世話人は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか」の質問に「不満は職員に直接話すことができる」「管理人から何かあったら言ってくださいといわれている」「対応してくれる」との回答が多く聞かれた。職員が何でも話したいことは話して良い旨を適時利用者に声掛けしていることから、話したいことを言える環境が整えられている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2	(1)	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。</li> <li>■ 30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</li> <li>■ 31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</li> <li>■ 32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</li> <li>■ 33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</li> <li>■ 34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>・利用者一人ひとりの個別支援計画が立てられており、グループホームでの生活で生活支援が必要な内容を「生活支援時間割」として具体的に計画している。平日の日中は、殆どの利用者が作業所や生活介護等でホームから外出しており、土日に買い物や趣味活動を生活支援として実践している。また、土日の日中活動の場は利用者が希望した場所で過ごしている。新型コロナ禍であり地域行事への参加やボランティアとの交流等は制限があり思うように活動ができなかったが、グループホーム内で行える行事を計画している。個別支援計画は半年毎に見直しを行い、現状に即した計画になるように検討を重ねている。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</li> <li>□ 36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 37 利用者の不応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</li> <li>■ 38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</li> <li>■ 39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</li> </ul>	<p>・利用者の障がいの状況に応じて適切な支援を行うため、職員研修の実施後の情報共有や共有ノートを活用し支援の質の向上を図っている。行動障害等の個別支援が必要な利用者が急変した場合、その場で適切な対応を取る必要があるため、管理者へ直ぐ報告し指示を受ける等の体制を整備している。職員間で情報共有するためのノートがあるものの、シフト制で職員が揃う機会が少ないことから、今後はオンラインシステムなどを活用し在宅からも参加できるようにし、会議形式で現状の利用者の生活の状況や行動などを話し合い、職員間での支援方法等の検討と理解・共有を図ることを期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2	(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</li> <li>■ 41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</li> <li>■ 42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</li> <li>■ 43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</li> <li>■ 44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</li> </ul>	<p>・ホームでの食事時間は概ね定時で提供されているが状況に応じて融通を利かせている。食事制限のある利用者には野菜を多くご飯の量を少なくする等して対応している。食事についての嗜好調査を行っており、献立には季節(旬)の食材を取り入れ、食事が楽しみなものになるように調理専門の職員が工夫している。また、リクエストのあった献立の時には「〇〇さんのリクエストメニュー」として皆さんにお知らせしている。入浴はホーム毎で毎日あるいは曜日を決め、女性、男性と分けて対応している。個別支援計画に基づき日常的な生活支援を行っており、現在対象となる利用者はいないが排泄についても利用者の心身の状況に応じた支援を行っている。</p>
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</li> <li>■ 46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</li> <li>■ 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。</li> <li>■ 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</li> <li>■ 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</li> </ul>	<p>・ホーム内の共有スペースや居室は適度な光が差し込み安全に配慮された設えとなっている。居室は各々鍵がかかり、プライベート空間や安心して過ごせる環境になっている。食堂は利用者が集うスペースとしてほど良い広さで、家庭的かつ開放感のある空間となっている。また、食事以外でも利用者が集まる居心地のよい場所となっている。浴室、トイレは清潔に保たれていた。冷暖房も完備され、思い思いに過ごせるようになっている。グループホームおむすびを核として他の4グループホームがあり、利用者ニーズや障がいの状況に応じて、居室やホームを変える等の配慮をしている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2	(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</li> <li>■ 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</li> <li>■ 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>・利用者の持っている能力や個性を十分発揮できるように、日常生活の中で生活リハビリを取り入れている。日頃から散歩をしている利用者は徐々に歩行距離を伸ばし歩行訓練に繋げている。膝が悪い利用者については、椅子に座ってできる体操を取り入れている。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</li> <li>■ 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</li> <li>■ 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</li> <li>■ 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>・協力医療機関（内科）と連携しており、利用者の健康状態に注意するとともに健康保持のために適切な措置を講じている。世話人や調理専門の職員が栄養と各人の嗜好を考えてバラエティーに富み、健康面を加味した献立づくりを心がけている。食事量や食べ具合等を観察して健康状態を把握している。利用者の健康状態に応じて、血圧測定等も行い記録している。医療機関受診時や生活介護の場でも情報を共有し、体の様子がよくわかるようになっており役に立っている。利用者によっては医療ニーズの高い方もおり看護師と話し合い情報の共有を図っている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	2	(5)	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</li> <li>■ 61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。</li> <li>■ 62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</li> <li>■ 63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</li> <li>■ 64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</li> <li>■ 65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>・日常的な服薬等の管理は医師の指示に基づき手順が決められグループホーム内にその手順を掲示している。各々のグループホームで服薬についての手順がまとめられており、グループホーム内にも掲示し適切に行っている。看護師が個別管理をしている薬は飲み忘れや間違いなどを予防するために薬の袋に日付をあらかじめ書き、各グループホーム内の指定された場所で保管され配薬されている。慢性疾患やアレルギーについては事前のアセスメント等で把握し医師の指示の下に対応し、現在対象者はいないが、医療的ケアの必要な利用者については看護師が対応している。</p>
		(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</li> <li>■ 67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</li> <li>■ 68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</li> <li>■ 69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</li> </ul>	<p>・社会参加を高めるため日頃から意向や希望を把握するように努めている。新型コロナ禍であり以前のように活動ができていないが、収束したときには地域、地区の活動に出かけることができるように準備している。「帰省支援」は本人の希望を家族に伝えて日程調整を行っている。荷物、薬等の必要品を準備し、自宅（県外も含む）まで送っている。また、当日の急な要望や外出希望についてはできるだけ対応しているが、職員の確保が難しい場合はできないことを伝えている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	2	(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</li> <li>■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</li> <li>■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</li> <li>■ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</li> <li>■ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</li> </ul>	<p>・利用者の希望と意向を尊重した支援を行っている。「地域へ戻りたい」「一人暮らしがしたい」等の希望や意向を把握して、利用者のニーズに応えられるよう相談支援事業所をはじめ、福祉施設・事業所、その他の社会資源と連携し、個別支援計画を立て実現できるように取り組んでいる。また、タイプの違うグループホームを取り揃え、利用者の希望に沿い住み替えをできるようにしており、地域生活の移行や地域生活の継続については、利用者にとって無理がないか十分に配慮し、利用者が主体的に生活を設計できるような動機づけや支援を行うとともに、利用者の意向や障がいの状況に応じて生活環境が確保できるよう支援している。また、家族や近隣住民の理解を得るための取組みも必要に応じて行っている。</p>
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</li> <li>■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</li> <li>■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</li> <li>■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</li> <li>■ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</li> <li>■ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</li> </ul>	<p>・新型コロナ禍で面会や帰省を自粛していただいているが、利用者の希望や意向を尊重して可能な限り対応している。また、家族も高齢であり双方の状況に応じて最も良い方法を検討して対応をしている。グループホームでの生活の様子は定期的ではないが必要に応じて家族に連絡をしており、利用者の誕生日に母親、姉弟から贈り物や手紙が届くこともある。</p>



評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 81 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。	・発達支援のための事業所ではないので対象外
				b)	<input type="checkbox"/> 82 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。	
				c)	<input type="checkbox"/> 83 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。	
					<input type="checkbox"/> 84 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 85 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。	・就労支援のための事業所ではないので対象外
				b)	<input type="checkbox"/> 86 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。	
				c)	<input type="checkbox"/> 87 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。	
					<input type="checkbox"/> 88 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。	
					<input type="checkbox"/> 89 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。	
					<input type="checkbox"/> 90 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	4	(1)	② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 <input type="checkbox"/> 92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 <input type="checkbox"/> 94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 <input type="checkbox"/> 95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	<p>・就労支援のための事業所ではないので対象外</p>
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。 <input type="checkbox"/> 98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 100 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 <input type="checkbox"/> 101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	<p>・就労支援のための事業所ではないので対象外</p>